

事業評価書

補助事業名	仲西小学校給水設備改修工事						
補助事業者名	浦添市長						
実施場所	浦添市屋富祖地内						
補助事業の成果の目標	<p>仲西小学校校舎は、竣工後33年を経過しており、給水設備機能の低下が著しい。児童の飲み水として使用されている水道(上水)供給管は、近年赤さびが混濁するほど、老朽化が進んでいる。現在は、応急処置として飲料用の蛇口には、浄水フィルターを設けて対応している。</p> <p>このため、当該小学校校舎の老朽化した給水設備を改修することにより、児童生徒が安心して飲み水として使用できるように水質の改善を図る。</p> <p>(参考指標) 飲料用水の水質:濁度、色度等の改善の確認</p>						
補助事業の内容	機械設備工事一式、電気設備工事一式						
補助事業の始期及び終期	平成27年度						
事業費及び交付金額		27年度	年度	年度	年度	年度	計
	事業費	円	円	円	円	円	円
	交付金額	10,260,000					10,260,000
補助事業の成果及び評価並びに関係住民への周知の実施状況	<p>水質の改善について下記の1)、2)について確認できた。</p> <p>1)改修後、目視で上水管から供給される水に赤さびや不純物がないこと</p> <p>2)改修前後に、水質調査を行い、濁度、色度等の数値比較で水質改善されたこと</p> <p>給水設備を改修したことにより、児童生徒が安心な飲み水として使用できる水質の改善が図られた。</p> <p>本給水設備改修工事が、特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を下記の方法で公表し、保護者を含む学校関係者および地域住民へ周知を行った。</p> <p>1)浦添市ホームページ 2)学校便り</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今回改修を行った給水設備が良好な状態で使用できるように、施設の維持管理を適切に行う。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	はしご付消防自動車機能保持事業						
補助事業者名	浦添市長						
実施場所	浦添市前田地内						
補助事業の成果の目標	<p>本市消防等活動におけるはしご付消防自動車は、中高層建築物の災害時において住民の生命・身体及び財産を保護するうえで、必要不可欠なものとなっています。</p> <p>はしご付消防自動車は、消防庁より通知されている「消防用車両の安全基準・はしご自動車編」に於いて、運用開始から7年、以降5年毎に車両機能保持（オーバーホール）を実施しなければならないとしています。</p> <p>車両機能保持（オーバーホール）とは、はしご付消防自動車の機器・装置構造物を脱着、分解の上、潜在的不良箇所、劣化部品及び消耗部品の修正並びに取替えを行い、機能・性能の復元を図り将来にわたり、消防等活動における『安全』『安心』を確保するものであります。</p> <p>本市のはしご付消防自動車は、平成14年の運用開始後、7年目のオーバーホールを終了してから5年が経過したため車両機能保持（オーバーホール）を実施することにより、多種多様化する災害に迅速かつ効率的な消防活動を実施することが可能となり、市民が安全・安心に暮らせる街づくりに寄与するものです。</p>						
補助事業の内容	はしご付消防自動車機能保持事業						
補助事業の始期及び終期	平成27年度						
事業費及び交付金額		27年度	年度	年度	年度	年度	計
	事業費	42,552,000					42,552,000
	交付金額	38,350,000					38,350,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【本事業の成果及び評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多種多様化する災害に迅速かつ効率的な消防活動を実施することが可能となり、市民が安全・安心に暮らせる街づくりに寄与された。 ・故障等の不具合もなく安定的な運用が可能であることから、本事業の成果を得られたと評価する。 <p>【地域住民への周知の実施状況】</p> <p>本車両の機能保持（オーバーホール）が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を以下の方法により、地域住民への周知を図った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 車両本体への記載 2) 浦添市ホームページへの掲載 						
事業の改善措置及び今後の対応	今回改修を行った車両が良好な状態で使用できるように、維持管理を適切に行う。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						